広報おおず

市の人口（12月1日）
人口　40,482人
男　19,357人　女　21,125人
世帯数　10,173戸
面積　240.93平方メートル

発行　大洲市役所
編集　文書課

盃のやりとりやめて
宴会楽し

12月の納税　固定資産税 3期

"環境整備はおとなの手で"

青少年を守る座談会

父母代表九人をはじめ青少年、民間有識者、青少年問題協議会、大洲署、県指導員、市教委など関係団体機関代表ら合わせて三十人は、さる四日市役所ホールで「青少年を守る座談会」を開き、"青少年を健全に育てるためにはどうすればよいか"について熱心に話しあいました。この中で「非行化の原因は愛情のない家庭環境にある。社会環境の整備は、おとなの手でやってほしい」という青少年また「就職条件が異なる場合が多いので、事前によく調査してほしい」と母親代表の意見などが出されました。

この座談会は毎月五日の「青少年を守る日」が一日だけでなく、日常生活にとけこんでいくようにと、それぞれの立場で意見を出し合うもので、まず県指導員の主旨説明につづき、市福祉事務所、大洲署防犯係、市教委からこれまでの青少年育成に関する報告とあわせて問題の提起が行なわれたあと意見の発表にはいりました。

まず青少年代表は①非行少年が生まれる大きな原因は、愛情のない家庭環境にある。これらの問題を解決するようにしてほしい。②社会環境の整備はおとなの手でやってほしい③よい仲間づくりが必要④県内外での各種研修会の参加に、助成などの協力をしてほしい」といい、これにたいして父親代表は「運動を盛り上げるには各地域での研修集会などの積極的活動が必要である」。また「①就職条件が異なる場合が多いので、各種機関で事前にもっと調査してほしい②青少年関係の会合にきてほしいひとが出席しないので、主催者側でもこれにとりくんでほしい」と母親代表は要望しました。

民間有識者代表からは「①関係団体との連携をいっそう強めてほしい②指導者の養成と助成をこんご強力にすすめると運動が盛りあがる」…などの意見でした。こんごこれらの意見を市民運動に盛りこんですすめることにしました。

このあと事例研究で①父子家庭の少年が非行しやすい②愛護班活動の強化は、非行化減少につながる―などが明らかにされました。

熱心に青少年問題を考える各代表ら

50人の補導委員を委嘱

少年問題を取り扱う関係機関団体の補導活動を一体化し、少年の健全な育成の効果をあげようと、さきに「少年補導センター」を設置しましたが、これらの具体的活動をすめる五十人の補導委員が本月一日付で市長から委嘱されました。

この補導委員は、小、中、高校の教職員、民生委員、婦人会、愛護班、PTA、それに民間活動家からなり、冬休みを迎えて少年らの行動を監視するために、組織的計画的に区域内の飲食店や街頭の盛り場、駅公園、映画館などの不良行為の行なわれやすい場所を見回って補導活動にあたることにしています。

このほか、一月からはこれまでの事例について研究をすすめ、研修会なども積極的に開くことにしています。

委嘱された補導委員は次のとおりです。（敬称略）

▽（小学校）―芳我一章、白石寅生、大塚年男、中井醇、高田英典、山根義徳、深井正人、山中久夫、上野和文、藤岡盛雄、大西篤夫、吉良郁孜、久保藤虎、石川洋一、村井弘、山崎操、

▽（中学校）―井手隣之、山中昭文、河田澄夫、三瀬豊三郎、西岡秀幸、二宮俊夫、富田薫、向井春雄、林福五郎、矢島龍晴、平田直邦、

▽（民生委員）―大滝源次郎、佐々木フジ子、玉木きく子、河野常、中島忠幸、竹田伝、大野幾馬、九鬼幸一、都築薫彰、下岡俊、

▽（民間活動家）―井上弘、田村武猪、鉤和俊、河野幸男、池田彰、桜田四郎、武智雪子、米沢フサノ、桜井美津子、岡田朝子

▽（高等学校）―矢野正興、野間哲哉、山本哲也

「三月答申」をメド

商工観光開発委が初会合

九月市議会で市長の諮問機関として設置をきめた商工観光振興開発委員会は、さる三十日市役所で初会合を開き、三月答申をメドに日程などをきめました。

委員会は学識経験者や地元商工観光関係業者など二十人で構成し「国の経済は産業構造を高度化しながら成長しているが、これにあわせ市の商工業の振興と観光開発を促進するための総合的、具体的方策はどうか」―を主題とする諮問案に取り組み、当市の商工観光関係者の実質市民所得が四十年の二倍を上回る発展策について考えることにしています。

なお、同委員会の委員は次のとおりです。（敬称略）

（一般）▽上村政光（上村製材社長）▽梶田辰次郎（梶田醤油社長）▽立花友一（商工会議所専務）▽近藤薫（商店連合会長）▽田中知淵（商店連盟）▽高月完（青年会議所）▽山本厳（南予布帛社長）▽平田弘（平田商事）▽上川好邦（県酪農畜多支店次長）▽日浅義輝（伊豫銀行大洲支店長）▽松田定義（旅館松楽）　以上11人

（学識経験者）▽井上幸一（松山商大教授）▽三好太良（県中小企業指導所次長）▽野口光敏（愛媛新聞編集局長）▽大久保佳彦（日本交通公社松山営業所）

（顧問）▽尾上利則（市議会議長）▽富永欽市（商工会議所会頭）▽芳我忠正（観光協会長）▽平塚義和（議員会長）▽兵頭義高（教育長）

成人式へどうぞ

―簡素な服装で参加を―

○ことしの新成人者
昭和二十二年一月一日から同年十二月三十一日までに生まれた市内在住者

○成人式
○とき　一月十五日　午前八時三十分～午後零時三十分
○ところ　大洲市公会堂
○行事　記念撮影、式典、アトラクション（音楽）

ご出席の成人者には、記念品と簡単な昼食を差し上げます

※　該当者には新年早々案内状を差し上げますから、市内在住のかたで案内もれのかたは、公民館か教育委員会に出席を申し出てください。

だれもが参加しやすい服装で

最近、経済成長に伴って生活もしだいに安定してきたもののまだまだ恵まれないかたたちの多いことを忘れてはなりません。このことをよく理解されて、だれもが参加しやすいように簡素な手持ちの服装（なるべく洋服）で出席されることを望みます。　市教委

街頭でカードを手渡す婦人会員ら

"子どもに楽しい家庭を"

婦人会員が街頭で呼びかけ

婦人会員ら三十人は、五日の青少年を守る日に駅前など市内六カ所で「子どもたちに明るく楽しい家庭を」「忘年会は、家族そろってなごやかに」のカード二千枚をくばり、道ゆく人びとに呼びかけました。

これは市、警察、教育委員会、連合婦人会主体の青少年健全育成活動の一つとして行なったもので街頭では、父親や婦人に会員が説明すると大きくうなずいていました。

また、婦人会では"明るい家庭づくり運動"のチラシを各家庭へ配布しましたが、このほか学校などの終業式には、児童生徒に子どもむきカードを手渡し、激励のことばを贈ることも計画しています。

かわりやすい冬山の天候

暮れから正月にかけては、多くの登山者が全国の山々に登山します。冬山は、雪と氷の中での生活やスキーなど、夏山では味わうことのできない魅力があります。しかし、その反面、たいへん危険が多く、ちょっとした気のゆるみや不注意がとりかえしのつかない大きな事故をまねきます。

最近の冬山シーズンでは、遭難の過半数が年末年始の時期に集中して起きております。遭難のおもな原因としては、急激な天候の変化となだれがあげられます。

登山するかたは、冬山の恐ろしさ、きびしさをよく認識して、悲惨な遭難事故を起こさないようにしましょう。

飲酒運転は大事故のもと

例年、年末年始には、飲酒運転による交通事故が激増するので、警察では、十二月一日から一月三十一日までの二カ月間を「飲酒運転ぜっ滅運動特別強調期間」として、飲酒運転による交通事故の防止につとめております。

みなさんがたも、年末年始を明るく楽しく過ごすため

▽酒を飲んだら、ハンドルを持たない。

▽運転する前には、酒を飲まない。

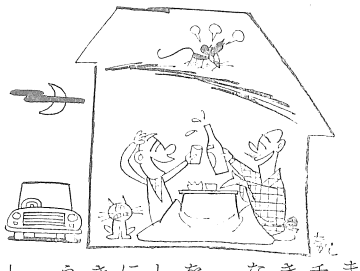
▽運転する人には、酒を飲ませない。

の「三ない運動」を実行していただきたいものです。

昭和四十一年の交通事故統計によりますと、十二月、一月の飲酒運転による交通事故は、月平均二七・五件で、他の月の平均一八・六件を大きく上回っております。

また、死傷者の数も、他の月の二倍近くになっております。このように年末年始に飲酒運転による事故が多い原因は、忘年会、クリスマス、正月、新年宴会と酒を飲む機会が続くためです。

飲酒運転は、重大事故を起こす最大の原因であり、もっとも悪質なひき逃げなどのもとになりますみなさん、このような飲酒運転をなくし、わたしたちのしあわせを守るため、「三ない運動」を実行しようではありませんか。



まあまあ一杯くらいが大事故のもと

年末に多い火災

あなたの家がしわすや正月に火事になったらと想像されたことがありますか。決して他人ごとではありません。毎年、年末には大きな火災が発生して不幸な正月を迎えるかたが全国では意外に多いのです。

そこで、市消防本部と消防団では、二十五日から三十一日まで年末特別警戒にはいりますが、いかに消防組織が警戒を厳にしても、火災を防止することは不可能です。

市民ひとりひとりがよく注意して年末の火災をなくし、新しい気持で新年を迎えましょう。

□火の用心をもう一度

わが家の火の元をもう一度点検しましょう。夜おそくまで起きている受験生の室は、ぜひ見回ってあげてください。うたたねをしているうちに石油ストーブを足でけり倒して火災をおこす例がたくさんあります。炭火やたき木で炊事をする家庭では、残り火を完全に消して、さらに寝る前に点検しましょう。プロパンを使用する家庭では、元せんをしっかり止めておきましょう。

こたつの火、あんかの火の不注意がみんな火災の原因になるのです。空気も、異常に乾燥しております。マッチ一本が大きな災害になります。

火の用心をもう一度しっかり心にとめておきましょう。

歳末の防犯心得

年末になりますと、毎年いろいろな犯罪や交通事故がふえてきます。そこで警察では、犯罪や交通事故を防ぐため、歳末防犯運動と年末警戒を行なっております。みなさんも、自分の生命や財産を守るため、犯罪や交通事故を防ぐよう心がけてほしいものです。

不愉快な小暴力

外出中に、迷惑や不愉快なおもいをさせられるほどシャクにさわることはありません。酔っぱらって人にからむ、乗りものの中で人のいやがることをする、人につきまとう―どれもこれも小暴力といわれるにくい行為。こんな行為を見たら知ったら、どしどし警察へ　大洲警察署

とくに、年末にはスリやヒッタクリ、アキスねらいが多くなりますから、次のことに十分注意してください。

◎スリにご用心

年の暮れはスリのかせぎ時で、デパートやこみあう店先、電車、バスなどがスリのかっこうのかせぎ場となります。このような場所では、すられないようとくにご用心ください。

また、スリにねらわれやすいズボンのうしろポケットや買物かごの中などには、さいふや現金を入れないように気をつけましょう。

◎現金の持ち運びは慎重に

年末には、商売などをしているかたは、販売や仕入れのためにお金の出し入れがはげしくなりますこのようなお金をドロボウがねらっておりますから、女性ひとりでのお金の出し入れ、集金などはたいへん危険です。現金の出し入れや持ち運びには十分注意が必要です。

ヒッタクリは、昼間でも人通りの少ないところで起こっております。たくさんのお金を運ぶときは必ず男の人が二人か三人で運ぶか自動車を利用するようにしましょう。

◎戸締まりを十分に

年末には、アキスねらいによる被害がふえてきます。それは、クリスマスの贈り物や正月用品などの買い物のため、不完全な戸締まりのままで家をるすにしがちだからです。

家をるすにするときは、戸締まりをするのが常識になっていますが、この常識がなかなか守られていないようです。るすにするときは、必ずカギをかけて、隣近所の人によく頼んでから出かけましょう。

121人が献血

15の団体と事業所

すが、十一月十三・十四日の両日市内をまわったところ、十五の団体や事業所のかたがた百二十一人の献血をいただき、好成績をおさめることができました。関係者のみなさんに厚くお礼を申し上げます。

献血の重要性については、みなさんがたが十分ご承知のことですが、いかに医学が進歩していても血液がなければどうすることもできないことが多いのです。ことに最近多い交通事故について考えてみても、いざというときに間に合いません。自分はもちろんのこと近親者やお知り合いの不慮の際にそなえ、健康なときに献血しておきましょう。

献血にご協力いただいた団体と事業所

▽帝京女子短大▽静心園▽大洲高等学校▽大洲農業高等学校▽喜多小学校▽日本通運KK▽蛇の目ミシンKK▽大洲市農協▽香川相銀▽厚生薬品KK▽松本薬品KK▽喜多酪農組合▽宇和島バス▽国鉄バス▽肱北婦人会

市と公民館では、みなさんのご協力で献血運動をすすめております

貯蓄で明るい家庭づくり

市制記念事業で推進

市制施行記念事業として年々すすめてきた貯蓄運動も、ことしで十二回目を数えるようになり、その貯蓄高も順調に延び、成果をあげてきました。

市制施行記念貯蓄運動推進本部では、ことに史上最高のボーナスといわれるこの年末に、みなさんがたにいっそう奮発していただこうと、今月一日から来春三月末までを「貯蓄増強運動推進期間」と定め、関係機関や団体のご協力でこの運動をおしすすめております。

みんながこの運動に参加して、より明るく、住みよい家庭と郷土を築くようにいたしましょう。

またことしもこの運動の一つとして、小・中学生のみなさんから貯蓄心を高める標語やポスターなどを募集することにしています。ふるって応募してください。いまから力作を期待しています。

なお、優秀作品には記念品が贈られるほか、こんどこの運動を盛りあげるために活用されます。

二十数歳の若い体力も

市教育委員会と公民館が十一月に、婦人会員、青年団員、官公庁職員ら百五十人について行なった壮年体力テストの結果をこのほどまとめたところ、いまの年齢と同じかより若い体力をもっているひとが七〇%いることがわかりました。

テストは①反復横とび②垂直とび③握力④ジグザグドリブル⑤急歩―などで各機能から総合点数によって体力年齢を判定するもので中には二十数歳も若い体力を持っているひともあります。また女子にくらべて男子の方が若い体力を持っており、それも日ごろスポーツを好み、年齢にあった適度の運動をしているひとが、やはり若さを保っていることも数字のうえからもいえるようです。

優良赤ちゃんを表彰

市では国民宿舎大洲臥龍苑で先月二十五日、ことしの乳幼児健康診査で選ばれた四十四人の優良赤ちゃんを表彰しました。

この乳幼児の健康診査は、乳幼児の発育にたいする専門的な保健指導と育児相談のために、市内の専門医師によって毎年行なっているものです。

ことしは五百六十七人の赤ちゃんのうち、四百四人が受診しましたが、その中から月別に健康でとくにすぐれた赤ちゃんを市の優良乳幼児として祝福するために四十四人を選んだもので、身長、体重ともに均整のとれたりっぱに発育した赤ちゃんでした。

▽〔大洲〕―井上成利、佐々木健二、福住俊幸、三原忠穂、長谷晃徳、松浦知春、白木美穂、福桝武史、鎌田克美、桧田紀久子、菊池勝、八木紀州、井上麻美、谷本利郎、高村和孝、二宮隆貴、安田照一、藤枝英二、朝倉毅、大塚啓造、児島美和、大塚勉、東裕美、山上裕美、〔平野〕―山本里美、清水ひとみ、中尻広幸、滝野伸幸、菊池暢芳、〔南久米〕―高井邦昭〔菅田〕―上野暢子、二宮務、〔大川〕―青木公正〔柳沢〕―新多隆俊〔新谷〕―谷本直樹、池田仁志、堀川美和、森野隆茂、松田祐美子、柳本康夫、〔三善〕―井戸文代、〔八多喜〕―上居直美、後藤陽子、〔上須戒〕―藤岡みどり

演習にも使用届

消火せんは火災に備える

消火せん（一栓）の使用にあたっては十分注意されているところですが、ややもすると安易な気持から目的外に使用して、上水道を使用されているみなさんがたにたいへん迷惑をおかけすることがあります。

そこで消火せんの取り扱いと許可の方法について次のように定められていますので、ご協力をお願いします。

①消火せんを許可なく使用できる場合は、非常の火災の場合に限ること。

②消防演習で消火せん（公設、私設とも）を使用する場合は、市長へ届出、承認を受けなければならないこと。

このように消火せんの使用を規制するのは、本来の目的である飲料水の供給に支障が起きるからで、こんどは清掃や農業用にも使用しないようにお願いします。

年末の郵便物は早めに

□年賀状はできるだけ〝二十二日〟までに

なお、差し出しの際は「市内」あてと「その他」あてを別々にたばねて、「年賀」と書いた紙札をそえてください。

□郵便物のあて名は「正しく、はっきり」と次の要領で書いてください

①あて名は「都道府県名・何市何町・何丁目・何番地」までくわしく。

②児童生徒さんが友だちに出されるときは、必ず「世帯主の肩書」を忘れずに。

③住居表示制度で住居名の変わった場合は「新しい住居名」で。

④お年玉つき年賀はがき以外の年賀状には、その表面左側のみやすいところに一枚「年賀」と「朱記」する。

□年賀状の年内配達

銀行、会社、官公庁などで年始に休まれるところへは、ご希望により年賀郵便物の年内配達もいたしますので、郵便局にお申し出願います。

□郵便受箱の設置のお願い

商店などでよく使用されているような戸には、ぜひ郵便受箱をつけてください。

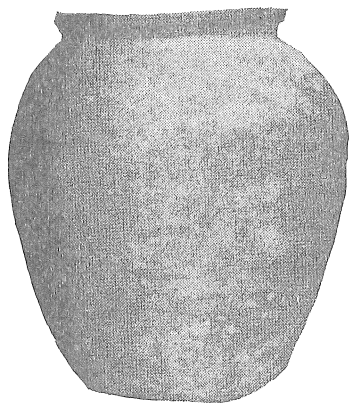
なお、大型の郵便物が多いので、形の大きいものにしてください。

大洲郵便局

大洲の文化財

愛媛県指定有形文化財　備前焼大かめ

所有者　西禅寺　（昭和41年3月29日指定）



最も古い歴史をもつ備前焼大かめ

この大かめは口径五一糎、高さ八四糎、胴廻り二・三八メートル、丸形、焼成は無釉で堅固な焼メ、色調は褐灰白色、たたくと金属性の音がする。

備前焼は、日本の焼物の中で最も古い歴史をもった日本的な独特の焼物で、岡山県備前町伊部（いんべ）を中心として焼かれているので伊部焼とも言います。

備前の大瓶は鎌倉時代から焼かれだしたと言われますが、そのころの作品は多く残ってはおりません。

室町初期か鎌倉末期ごろに作られたこの作品が西禅寺にあるのは、たいへん珍重なことで、その作行きも焼き上りもよく、保存も完全で実に堂々たるものです。

西禅寺は六百二十余年前の康永二年（一三四三年）真空妙応禅師が開山したもので、禅師は観応二年（一三五一年）このカメの中で入寂したと伝えられ、嘉永六年（一八五三年）開祖塔再建の際石蓋（一ぶた）を取ると、座禅姿の白骨が発見された記録が寺にあります。

備前焼と大洲地方との関係は、カメ棺としての民族資料、または古刹（―さつ）西禅寺にまつわる史料的価値からみて貴重な遺品と言えるものです。

（市教委社会教育課）

書きぞめと筆の話

書きぞめの風習は、いつごろからのものであるか、はっきりしないようです。しかし江戸時代には寺子屋で書かせていたようです。

新しい年を迎えて、初めて筆をとり、寿や福などの文字を書いて家内にはって祝った、一種のお正月の行事の一つです。

戦後、一般家庭でこの書きぞめをすることはほとんど忘れられていましたが、最近の復古ブームで勢いを盛り返したようです。

書きぞめにかぎらず、日本の伝統的な芸術としての書道も、このところたいへんな人気を呼んでいます。

さて、お習字の道具である毛筆は、いったいいつごろから日本にやってきたのでしょうか。

もちろん毛筆は中国から渡来したものですが、一般的には、弘法大師（空海）が、唐から持ち帰ったものと考えられています。いまから九百年ほど前のことです。現在、正倉院には、約八百年代の毛筆が保存されているそうですから当時はたぬきの毛で作られたそうですが、後になってうさぎの毛でも作られたようです。現在も、ねこ、てん、たぬき、いたち、ひつじなどを原料としているそうで昔と大差はありません。

奈良朝時代の毛筆の値段は、うさぎで一本四～五千円、たぬきで一～二千円、安い筆は、しかの毛で一本百円～五百円が相場だったとのことです。（いずれも現在のお金に換算）

年末の支払事務

○二十二日から二十七日までは、毎日午前九時から午後三時まで支払いいたします。

○二十八日は、かってながらご用納めのために午前中で支払事務はおわらせていただきます。

（市会計課）

〝コエマツ〟買い入れ

大洲名物の〝ウ飼い〟も年ごとに盛んになっておりますが、そのウ飼いの〝かがり火〟となる〝コエマツ〟を買い入れます。

買い入れ先は市観光協会（市役所内、商工観光課内）で、くわしいことは直接か電話（二二一一）でご相談ください。

オ二次結核集団検診

今年度レントゲン検診を受けていないかたのために実施しています。一月には次の場所が予定されています。

喜多保育所、喜多幼稚園、平野連絡所、宇津集会所、大竹集会所、菅田連絡所、喜多山小学校、新谷公民館、上須戒小学校

くらしのメモ

□衣類の整理

お正月に着た晴れ着は早めに始末しましょう。和服類、洋服類ともにしみやよごれを完全におとしてしまわないと、高価な晴れ着をだいなしにしてしまいます。

一月下旬から二月上旬にかけて衣料店では「冬物一掃」と称して大安売りを始めます。案外安くてよい品があります。計画を立てて利用いたしましょう。

ご婦人がたはこたつにあたりながら、こまごましたぬい物、あみ物に精の出るのもこのころです。心をこめた作品は、使う人に、どれだけ喜ばれるかしれません。

□厳寒期の食事

お正月料理も何日かつづくとあきがきます。とくに保存食やもち類が主となるため、野菜不足になりがちです。その結果、ビタミンCが欠乏し、かぜをひきやすくなったりします。そんなとき、みかんやレモンを食べるとか、毎食大根おろしをおかずにするとC不足が補えます。

そのほか寒さがきびしいときはできるだけ栄養価の高い食品をとる必要がありますが、レバー、牛乳、卵、魚のひもの、しいたけ類が最適です。

近ごろは、寒中といっても、たいていの促成野菜類が出回っていて、お金さえ出せば手にはいります。またお鍋にしても、冷凍魚が豊富になってきて、季節を問わず買うことができるようになりました。その反面、出費も多くなり、ことに最近の物価値上りで、家庭の主婦はやりくりに苦労なさっていることでしょう。ともかく、高いからおいしい…栄養価があると考えないで、もやしなどは安くて栄養豊富ですし、あじやいわしのひものは、高価なたいやひらめに比して二倍近い栄養価があることを忘れないでください。

あなたがお酒を飲むとき

師走―クリスマス、暮れ、お正月と、ご婦人方もお酒を飲む機会がふえています。

お酒の席にふなれなために妙に堅くなって、席をしらけさせたり飲みすぎて、はた迷惑をかけたりしたくないものです。

まず、お酒は日ごろの緊張感をといて自分も楽しみ、相手も楽しませながら飲むこと。日ごろの自分の酒量を知っておくこともたいせつ。

また、飲む前には適当に食事をしておくこと。飲みながら出された料理も食べましょう。とくに酢のものは、体内にはいるとアルカリ性になり、お酒の酸性を中和してくれます。

□厳寒期の健康

毎日軽い体操を試みましょう。ご自分の体力と相談して、場所、時間などを研究し、できれば日光にあたりながら、戸外での体操をやってみましょう。

とくに主婦の方は運動不足になりがちです。朝、台所のあと片づけが済んだあとなどに、こどもさんやご主人が出かけたあとなど、むりのない程度で、首をまわしたり立ったりしゃがんだり、腰を左右にねじったりしてみましょう。テレビ体操などもよい参考になります。

図書館だより

―新刊図書案内―

ダンヒルたばこ紳士（ダンヒル）
夜会服　（三島田紀夫）
まぼろしの人　（石坂洋次郎）
青空に叫ぼう　（小山美江子）
人生の名著9　（ソレンセン）
現代の教養11　（臼井吉見）
小泉信三全集7　（小泉信三）
大漢和辞典　巻九　（諸橋轍次）
世界の詩集7　リルケ詩集　（佐藤春夫）
日本詩人全集17　（石川啄木）
日本の詩歌5　（井上光貞）
大世界史5　アメリカで考えたこと（中川）
カラー学習小学生全集
24　体育とスポーツ
8　宇宙の科学
世界の人生論2（倉田百三）他
中央と愛媛　明治物語（玉井豊）
生活の本1　わが師わが友
原色日本美術19　陶芸
アクセサリー　（竹久みち）
巡礼の寺（三浦美佐子・小川光三）西国三十三カ所観音霊場
国民の文学21　（松本清張）
徳川千姫1・2　（舟橋聖一）
東京物語　（源氏鶏太）
清怨　（桂享子）
愛は抵抗する　（北原武夫）
嵐の中の顔　（富田常雄）
二つの庭　（宮本百合子）
愛はやすき業か　（栗田　勇）
志都という女　（高橋玄洋）
実用百科事典3医学・育児
巨人出口王仁三郎（出口京太郎）
転落の歌　（瀬戸内晴美）
尼やつれ　（今　東光）
沖縄かくて潰滅す（神　直道）
走れコラーサ号　（鹿島郁夫）
生きがいの創造　（湯川秀樹）
柑橘の病虫害生態と防除
（全購連誠文堂新光社）
石狩平野　（船山　馨）
戦　死　（高木俊朗）
花と果実　（石坂洋次郎）
乃木と東郷　下　（戸川幸夫）
日本文学の歴史4・6巻
世界文学全集9　（グラス）
日本地名大事典6　東北
自己催眠術　（平井富雄）
日本刀入門　（柴田光男）
人生を考えよう（PHP研究所）
捨てて勝つ　（御木徳近）
実力者　（藤原弘達）